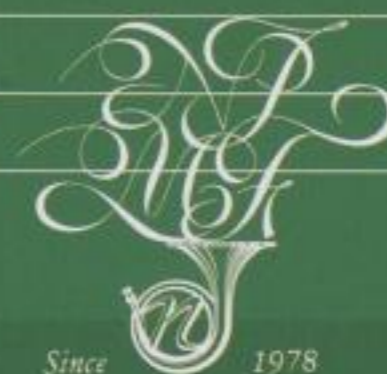


*Nagoya
International
Music
Festival*



Since 1978

2015

ミヒャエル・ザンデルリンク指揮
ドレスデン・
フィルハーモニー管弦楽団

*Nagoya
International
Music
Festival*



第23回

名古屋国際音楽祭

ミハエル・ザンデルリンク指揮

ドレスデン・ フィルハーモニー管弦楽団

2015年7月3日[金]

愛知県芸術劇場コンサートホール

PROGRAM

ベートーヴェン：

歌劇「フィデリオ」序曲 作品72

交響曲 第6番 へ長調「田園」 作品68

交響曲 第7番 イ長調 作品92

Michael
Sanderling
Principal Conductor

Dresdner Philharmonie

©Marco Borggreve



SLUB

Wir führen Wissen.



Dresdner
Philharmonie

第38回 名古屋国際音楽祭

4/5 [日] 15:00開演

愛知県芸術劇場コンサートホール

名古屋国際音楽祭オープニング・コンサート

小山実稚恵 ラフマニノフ
二大コンチェルト

4/18 [土] 17:00開演

愛知県芸術劇場コンサートホール

チョン・キョンファ
ヴァイオリン・リサイタル
ピアノ：ケヴィン・ケナー

5/6 [水・休] 13:30開演

愛知県芸術劇場大ホール

英国バーミンガム・ロイヤル・バレエ団
「白鳥の湖」

5/29 [金] 18:45開演

愛知県芸術劇場コンサートホール

ザルツブルク・
モーツァルテウム管弦楽団
～モーツァルト交響曲集～

6/13 [土] 17:00開演

愛知県芸術劇場大ホール

ハンガリー国立歌劇場

ロッシーニ：歌劇「セビリアの理髪師」

7/3 [金] 18:45開演

愛知県芸術劇場コンサートホール

ミヒャエル・ザンデルリンク指揮

ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団

7/11 [土] 17:00開演

愛知県芸術劇場コンサートホール

ミハイル・プレトニョフ指揮

ロシア・ナショナル管弦楽団

ピアノ：牛田智大

主催 / CBC テレビ・名古屋市

後援 / 外務省・文化庁・愛知県・愛知県教育委員会・

名古屋市教育委員会・中日新聞社

Presented by CBC Television and Nagoya City

With the support of The Ministry of Foreign Affairs of Japan, Agency for Cultural Affairs, Aichi Prefecture, The Board of Education of Aichi Prefecture and Nagoya City, The Chunichi Shimbun

賛助会員ご芳名

ANAクラウンプラザ ホテルグランコート名古屋

SMBC日興証券株式会社

池上通信機株式会社

岡谷鋼機株式会社

学校法人 金城学院

学校法人 さくら学園

学校法人 南山学園

株式会社 TBSテレビ

株式会社 アイワット

株式会社 安藤七宝店

株式会社 エスカルゴ35

株式会社 エディオン

株式会社 オンワード樺山

株式会社 ケー アール アイ

株式会社 コアズ

株式会社 三光

株式会社 ジャム

株式会社 新星堂

株式会社 新東通信

株式会社 大丸松坂屋百貨店

株式会社 竹中工務店

株式会社 電通 中部支社

株式会社 東芝

株式会社 名古屋観光ホテル

株式会社 名古屋東急ホテル

株式会社 花基

株式会社 ばんだい

株式会社 三菱東京UFJ銀行

株式会社 名鉄百貨店

株式会社 メガネの和光

株式会社 若尾総合舞台

神田印刷工業株式会社

ギャガ株式会社

コニックス株式会社

栄印刷株式会社

サントリー酒類株式会社

セキスイハイム中部株式会社

総合警備保障株式会社

大一美術館

大同特殊鋼株式会社

瀧定名古屋株式会社

チケットぴあ名古屋株式会社

中電不動産株式会社

電気興業株式会社

東海旅客鉄道株式会社

東京海上日動火災保険株式会社

東邦ガス株式会社

東洋プリディア株式会社

トヨタ自動車株式会社

中日本装備株式会社

名古屋芸術大学

名古屋鉄道株式会社

日本ケータリング株式会社

日本電気株式会社

日本特殊陶業株式会社

パナソニック システムネットワークス株式会社

丸茂電機株式会社

三井住友信託銀行株式会社

有限会社 ザットインターナショナル

(五十音順)



株式会社 CBC テレビ
代表取締役社長

林 尚樹

ライト版「白鳥の湖」を披露、オペラは東欧の名門歌劇場、ハンガリー国立歌劇場がロッシェニの人気作品「セビリアの理髪師」を上演します。

オーケストラは、モーツァルト生誕の地・ザルツブルクから「モーツァルト管弦楽団」、新鋭ミハエル・ザンデルリンク指揮「ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団」が、それぞれ彼らが得意とするモーツァルト、ベートーヴェンの交響曲を披露します。また、天才の誉れ高いプレトニョフ率いる「ロシア・ナショナル管弦楽団」が、目覚ましい活躍をしている若手ピアニスト、牛田智大をソロに迎え、壮大なロシア音楽の世界を繰り広げます。

リサイタルでは、一昨年音楽祭に15年ぶりに登場し、聴衆を唸らせたヴァイオリニスト、チョン・キョンファが登場と、いずれ劣らぬ名演奏家たちが、音楽の神髄を堪能させてくれるものと期待しております。

ここ数年、私どもを取り巻く内外の社会、経済情勢は大きく揺れ動いてまいりました。しかし、その中でこそ上質な音楽、舞台芸術が、人々の心に潤いと活力をもたらしてくれる事を願い、当音楽祭のさらなる充実を図って参りたいと存じます。ご来場の皆様、賛助会員の皆様、名古屋市ほか関係者の皆様に、心より御礼申し上げますとともに、今後ともご愛顧、ご協力の程を切にお願い申し上げます。

本日は「名古屋国際音楽祭」にご来場を頂き、誠にありがとうございます。

本年、当音楽祭は38年目のシーズンを迎えました。長年のご愛顧を頂いている皆様に、この場をお借りして、厚く御礼を申し上げます。

本年は、デビュー30周年を迎えるピアニスト、小山実稚恵がラフマニノフのコンチェルトを2曲連続演奏するという、音楽祭ならではのオープニング・コンサートで開幕いたします。バレエは英国二大バレエ団のひとつ、バーミンガム・ロイヤル・バレエ団が4年ぶりに来日、濃厚なドラマ性と品格を併せ持つ傑作、ピーター

Thank you for coming today to the Nagoya International Music Festival.

This season marks the 38th year for this music festival to be held. We would like to take this opportunity to express our heartfelt thanks to you for your dedicated patronage over a great number of years.

This year's festival will begin befittingly with an opening concert in which Michie Koyama, who is celebrating her thirtieth year as a pianist this year, will perform two Rachmaninoff concertos consecutively. The ballet will be brought to you by one of the two major ballet companies of the United Kingdom, the Birmingham Royal Ballet, returning to Japan after an absence of four years, with the full-bodied, dramatic and sophisticated masterpiece Swan Lake by Sir Peter Wright. This year's opera will be a performance of Rossini's popular The Barber of Seville by Eastern Europe's distinguished opera house, the Hungarian State Opera House.

The orchestras playing this year will be the Mozarteum Orchestra Salzburg from Salzburg, the birthplace of Mozart, and the Dresdner Philharmonie, conducted by the up-and-coming Michael Sanderling, with each orchestra performing its forte, Mozart and Beethoven symphonies, respectively. Also, the Russian National Orchestra, led by the celebrated genius Mikhail Pletnev, will welcome the extraordinarily successful young pianist Tomoharu Ushida as a soloist to allow the majestic world of Russian music to unfold before the audience.

The recitals, including an appearance this year by Kyung-Wha Chung, the violinist who left a deep impression on the audience when she performed at this festival two years ago after an absence of 15 years, will all be by virtuosos who will no doubt deliver the quintessence of music to your heart's content.

In the last few years, social and economic conditions surrounding us, both inside Japan and overseas, have been quite unstable. But it is precisely because of this that I hope that sophisticated music and theatrical arts will provide power and fulfillment to people's hearts, and will continue to strive to make this festival an even more rewarding experience. I wish to express my thanks from the bottom of my heart to the audience here today, the supporting members, Nagoya City, and all other people involved, and ask for your continued patronage and cooperation.

Naoki Hayashi
President
CBC Television Co., Ltd.



名古屋市長 河村たかし

本日は、名古屋国際音楽祭にお越しくださいませ、誠にありがとうございます。

春から初夏にかけて名古屋を音楽で彩る「名古屋国際音楽祭」は、今年で38回目を迎えました。

今シーズンは、デビュー30周年を迎えた小山実稚恵による、ラフマニノフの名コンチェルト連続演奏という華々しいオープニング・コンサートで幕開けし、英国バーミンガム・ロイヤル・バレエ団によるクラシック・バレエの金字塔「白鳥の湖」公演や、名古屋国際音楽祭初登場であるハンガリー国立歌劇場によるロッシェニ：歌劇「セビリアの理髪師」公演など、バラエティに富んだ7公演を開催します。

世界各国からトップ・アーティストをお迎えし、珠玉の公演の数々をご鑑賞いただけるこの国際的な音楽の祭典が、皆様方にとって素晴らしい音楽との出会いの場となりますことを、心から期待しております。

名古屋市では、先代が築き伝えてきた文化を受け継ぎながら、全国・世界に情報発信できる名古屋文化を創造することを目指しております。市民の皆様が誇りを持てるまち、住んで自慢になるまちナゴヤをつくっていききたいと考えておりますので、今後とも皆様方のお力添えをいただきますよう、よろしくお願いいたします。

本音楽祭の成功を心から祈念するとともに、開催にあたりご尽力いただきました株式会社CBCテレビはじめ関係者の皆様に深く敬意を表します。

Thank you very much for coming today to the Nagoya International Music Festival.

This international music festival, which is one of the big attractions of Nagoya in spring to early summer, has now entered its 38th year.

This season will start off with a spectacular opening concert of two consecutive well-known Rachmaninoff concertos by Michie Koyama, who is celebrating her thirtieth year as a pianist. This will be followed by the monumental classical ballet Swan Lake performed by the Birmingham Royal Ballet of the United Kingdom, and a performance of Rossini's The Barber of Seville by the Hungarian State Opera House, which will be making its first appearance at the Nagoya International Music Festival, for a total of seven performances that are rich in variety.

We sincerely hope that this international musical celebration, in which audiences can appreciate the outstanding performances of top artists from all over the world, will be a place for you to encounter magnificent music.

In Nagoya City, we are striving to create a Nagoya culture whose information can be transmitted to the rest of Japan and the world, while at the same time cherishing the culture that our predecessors have developed and handed down to us. Our aim is to create a city of which its citizens can be proud, where living here is a source of prestige for its residents. We would like to ask for your continued cooperation in these efforts.

I wish for the success of this music festival from the bottom of my heart, and to pay my respects to CBC Television Co., Ltd. and all the parties concerned, who have worked so hard to enable this festival to take place.

Takashi Kawamura
Mayor
City of Nagoya

組織委員

名誉顧問

青柳 正規 文化庁長官
大村 秀章 愛知県知事

顧問

高橋 純一 大阪国際フェスティバル統括
立花 貞司 トヨタ自動車顧問

名誉会長

河村たかし 名古屋市長

会長

林 尚樹 株式会社CBCテレビ代表取締役社長

委員

藤井 知昭 音楽評論
加藤 直次 株式会社CBCテレビ報道・番組総局長
佐藤義比古 株式会社CBCテレビ報道・番組総局事業局長

運営事務局

株式会社CBCテレビ事業局事業部

石田 敏広
岡崎 剛之
佐藤 秀幸
大河内章代



©Marco Borggreve

Michael Sanderling

Principal Conductor

ミヒャエル・ザンデルリンク

(首席指揮者)

ベルリンに生まれ、同地で教育を受けたミヒャエル・ザンデルリンクは、同世代で最も人気の高い指揮者の一人である。多くの一流オーケストラとの共演と、名高いドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団との非常に充実した芸術的共同作業により、指揮者としての国際的名声を獲得した。2011/12年シーズンより、ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者に就任し、2018/19年シーズンまで務める予定。2006～2010年にはポツダム・カンマーアカデミーの芸術監督兼首席指揮者を務めた。

これまでに、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、ドレスデン国立歌劇場管弦楽団、バンベルク交響楽団、シュトゥットガルト、ミュンヘン、ケルン、ハンブルク、ライプツィヒ、ハノーファーの各放送交響楽団、ストラスプール・フィルハーモニー管弦楽団、ネーデルラント・フィルハーモニー管弦楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団など、世界の一流オーケストラと共演。ケルン歌劇場では、新演出によるプロコフィエフの大作オペラ「戦争と平和」を指揮し大好評を博した。

2015年と2016年には、複数の楽団との再共演に加えて、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、ウィーン交響楽団、トロント交響楽団、東京都交響楽団との初共演が予定されている。

ザンデルリンクは、才能ある若手音楽家との共演にも熱心に取り組んでいる。ドイツ弦楽フィルハーモニーの首席指揮者を数年間務め、最近ではドイツのブンデスユーゲント管弦楽団、エルサレム・ワイマール・ユース・オーケストラ、ユンゲ・ドイチェ・フィルハーモニー管弦楽団、シュレスヴィヒ＝ホルシュタイン音楽祭管弦楽団と共演している。

後期ロマン派の交響曲や、ショスタコーヴィチ作品、古典派の作品を中心に取り組んでいる。現代音楽の擁護者として、現代作曲家の作品の初演も多い。



Dresdner Philharmonie

ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団

©Marco Borggreve

首席指揮者：ミヒャエル・ザンデルリンク

ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団は、ザクセンの州都ドレスデンのオーケストラである。

クルト・マズア、マレク・ヤノフスキ、ラファエル＝フリーベック・デ・ブルゴス等につき、2011年よりミヒャエル・ザンデルリンクが首席指揮者を務めている。ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団は、15世紀に始まり19世紀初頭までにオーケストラの規模に発展した「ラーツムジーク」と呼ばれる市の楽団の伝統を引き継いでおり、1870年にドレスデン初の大コンサートホールができると、彼らの演奏会はドレスデンのコンサート・ライフの一部を担うようになった。ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団は、その歴史を通して、コンサート・オーケストラであると同時に、定期的にオペラ・コンチェルトやオラトリオの分野にも果敢に取り組んできた。本拠地は旧市街の中心にある文化宮殿である。現在は2017年までの完成を目指して改装工事中で、文化財である建物の外観は生かし、中は超近代的な新しいコンサートホールになる予定である。その間、ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団の演奏会は、大編成のものは主にアルベルティヌムとシャウシュピールハウスで行われている。

ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団は、音楽的にも様式的にも幅広いレパートリーを持つ。ロマン派の作品では彼らならではの「ドイツ」サウンドを維持しつつ、バロック音楽、ウィーン古典派、近代音楽にふさわしいサウンドとス

タイルに対応する柔軟性も培ってきた。楽団設立初期の頃から著名な指揮者や作曲家が同団を指揮してきたが、その中にはブラームス、チャイコフスキー、ドヴォルザーク、リヒャルト・シュトラウス、エーリッヒ・クライバー、クナッパースツブシュ、プレヴィン、マリナー、アンドリス・ネルソンス、クリスチャン・ヤルヴィが含まれている。新作の初演は今も同団のプログラムの重要な部分を占めている。

ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団は、聖十字架教会のクリスマスと復活祭におけるバッハ演奏でドレスデン聖十字架合唱団と、合唱を伴う大規模な交響的作品ではドレスデン・フィルハーモニー合唱団と素晴らしい共演を続けている。また、同団の楽団員だけで構成されるドレスデン・フィルハーモニー室内合奏団による小編成作品や室内楽の演奏も、同団のもうひとつの伝統である。ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団は膨大な数の定期会員を誇るが、ファミリー向けのプログラム、映画音楽のコンサート等、新しい客層へのクラシック音楽の紹介にも尽力している。また、毎年世界各国に招かれて演奏を行い、高い名声を得ている。もうひとつの特筆すべき側面は、1937年から始まる膨大なディスコグラフィである。現在、ショスタコーヴィチとベートーヴェンの交響曲を組み合わせた新録音のシリーズが、首席指揮者ミヒャエル・ザンデルリンクとの共演でソニー・クラシカルにて進行中である。



ベートーヴェン

歌劇「フィデリオ」序曲

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン (1770-1827) は、23歳の頃に、オペラ《フィデリオ》の作曲を始めた。その台本は、フランス人作家 J. N. ブイイの『レオノーレまたは夫婦愛』を使用している。男装した妻レオノーレが、政治犯の夫フィデリオを監獄から救い出す話で、すでに耳の病気が重くなっていたベートーヴェンは、快活で誠実なレオノーレに勇気づけられ、いつ死ぬとも救い出されるとも分からず、悲嘆に暮れるフィデリオに、自分自身を重ね合わせていたようだ。

初演は1805年にウィーンで行われたが、失敗に終わってしまう。その頃ウィーンがフランス軍に占

領されていたことと、歌手の不適切な配役が主な原因と言われている。その後、1806年に改訂上演され、さらにその8年後の1814年に再び改作し、再演されている。1814年の再演の際に新たに作曲されたのが、本日演奏する〈フィデリオ序曲〉である。

音楽は、ホ長調で、まず力強いアレグロの音楽、続いてアダージョのゆるやかな音楽が交互に現れる。しばらくすると、アレグロ部分のモチーフを用いてホルンが新たなメロディを奏する。音楽は勢いを持って進み、やがて再び冒頭の音楽が帰ってきたあと、プレストになってテンポが加速し、盛り上がるの頂点で閉じる。

《交響曲第6番》「田園」

交響曲第6番は、1807年に作曲された第5番「運命」の一年後の1808年に作曲された。第6番は、「田園交響曲」と名付けられ、全5楽章に全て標題が添えられている。作曲を行った場所は、ベートーヴェンが活動の場としていたウィーンからほど近い村、ハイリゲンシュタットだった。ベートーヴェンは自然を愛し、よく田舎町の森林を長い時間をかけて散歩していた。その時はたいてい五線譜を持ち歩いて、時に立ち止まり、作曲のスケッチをしていた。ベートーヴェンの交響曲は、以後のほとんど全ての作曲家に影響を与えたといっても過言ではなく、この第6番の性質は、ベルリオーズやメンデルスゾーン、リストといったロマン派の作曲家たちの標題音楽へと受け継がれている。ベートーヴェンはこの標題を持つ作品について、「絵画よりも、はるかに感じの表出を」と述べている。

第1楽章：「田舎に着いた時に起こる愉快的な感情」

アレグロ・マ・ノン・トロppo、ヘ長調、ソナタ形式。

明るくのどかなヘ長調の第1主題が弦楽器、そして管楽器によって提示される。第2主題は、管楽器で3連符の和音が聴こえたあとに提示される。八長調の穏やかな音楽である。その後も、晴れた日の田舎を思わせるような音楽が続く。再現部は、2つの主題がヘ長調で再現される。

第2楽章：「小川のほとりの情景」アンダンテ・モルト・モート、変ロ長調。

ヴィオラとチェロが小川の流れを表現し、その上でヴァイオリンがメロディを演奏する。途中、ファゴットやフルート、オーボエ、クラリネットにも旋律が移るが、それぞれの楽器の音色の美しさを感じることができる。そして楽章の終わりには、鳥の鳴き声を聴くことができる。フルートがナイチンゲールを、オーボエがうずらを、クラリネットがかっこうの鳴き声を表している。

第3楽章：「農夫たちの楽しい集まり」アレグロ、ヘ長調。

3拍子の生き生きした舞曲風の楽章である。弦楽器によって始まり、しばらくするとオーボエ、クラリネット、ホルンの順で民族色あふれる音楽を奏する。最後はプレストとなり、次の楽章へそのまま続く。

第4楽章：「雷雨、嵐」アレグロ、ヘ短調。

突然雲行きが怪しくなる予感を示し、第2ヴァイオリンが早足で駆けて、緊迫した音楽を演奏する。嵐や稲妻を表すためにピッコロ、トロンボーン、ティンパニが加わる。雨がやみ、フルートの音が上がっ

ていったあと、終楽章に入る。

第5楽章：「牧人の歌—嵐の後の喜びと感謝」アレグレット、ヘ長調、ロンド・ソナタ形式。

フルートからオーボエに旋律を受け渡されて始まる。そのあと、ホルンに旋律が渡る。雨が上がって空が晴れ渡り、第1ヴァイオリンが第1主題（「牧人の歌」）を演奏する。第1主題を変奏しながら繰り返す途中に、ハ長調の第2主題が含まれている。展開部は第1主題を用いて、のどかな音楽が展開される。再現部のあと、ヴァイオリンに第1主題から派生した美しい静かな旋律が現れ、最後はフォルティッシモで閉じられる。

《交響曲第7番》

交響曲第7番は、1811年から12年にかけて作曲された、42歳の頃の作品である。その前年には、あまり知られていないが、結婚まで考えた女性がいた。ベートーヴェンの主治医マルファッティ医師の姪で、テレゼという女性だった。しかしその恋は実ることなく終わりを告げている。1811年夏には療養のため、ボヘミアの温泉地テプリツェへと向かい、ウィーンに戻ったあと作曲を始めたのが、交響曲第7番だった。初演は、成功を収め、特に第2楽章が好評で、アンコールでもう一度演奏されたほどだった。特定のリズムを1楽章間に渡って使用するなど、リズムにこだわった曲で、ワーグナーは「舞踏の聖化」、リストは「リズムの聖化」と言い、評価している。

第1楽章 ポコ・ソステヌート—ヴィヴァーチェ、イ長調、ソナタ形式。

第1楽章は、長い序奏部を持っている。序奏部はテンポがゆるやかで、管楽器の旋律に導かれて進む。また、弦楽器はスタッカートで上昇する音階を導く。主部に入る前にはミの音だけになり、この楽章間で使用されるリズムを準備する。主部になるとテンポを速め、フルートによって軽快で明るい第1主題が提示される。第2主題はホ長調となるが、あまり独立性のないものである。主部の始めに示したリズムを終始用い、快活で躍動的な音楽が終わりまで続く。

第2主題 アレグレット、イ短調、3部分形式。

管楽器がため息のような和音を2小節鳴らしたあと、ヴィオラ、チェロ、コントラバスが、静かで暗

い厳粛なリズムの音楽を演奏する。第2ヴァイオリンに主題が移ると、ヴィオラとチェロは別の旋律を奏する。中間部は、イ長調になり、ゆるやかでやさしい音楽となる。第3部は再びイ短調になり、最後にコーダを持っている。

初演から好評を得た楽章で、後にロベルト・シューマンは、冒頭主題を使って《ベートーヴェンの主題による自由な変奏形式の練習曲》を作曲した。

第3楽章 プレスト、ヘ長調。

形式的には5つの部分から成り、第1部は、ヘ長調の勢いのあるスケルツォ風の音楽で始まる。第2部はテンポを落とし、二長調に転調して、たゆたうような主題が使われる。この2つの部分が交互に現れる。

第4楽章 アレグロ・コン・プリオ、イ長調、ソナタ形式。

フィナーレにふさわしい華やかな舞踏風の音楽で始まる。冒頭に、短いファンファーレがあった後、すぐに第1主題が第1ヴァイオリンによって提示される。第1主題は、いそがしく旋回するような音楽である。第2主題は、嬰ハ短調に転調し、再び第1ヴァイオリンによって提示される。両主題とも、弱拍を強調したリズムを用いている。展開部は、第1主題を使い、より勇ましさを増して快活に進む。再現部のあとには長大なコーダがあり、低声部の厚みのあるオスティナートに支えられて、活発に動き回り、大団円を迎える。

ミヒャエル・ザンデルリンク ~受け継がれる名指揮のこころ~ と ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団 ~伝統と革新の響き~

真嶋雄大 (音楽評論家)

©Marco Borggreve

名指揮者ザンデルリンクの称号は 父クルトから子ミヒャエルへ

ザンデルリンクと聞くと、すぐに大指揮者クルト・ザンデルリンクの名を思い起こす方は数多くいらっしゃるに違いない。そしてシュターツカペレ・ドレスデンとのブームス「交響曲全集」、ベルリン交響楽団を振ったシベリウスの交響曲と管弦楽曲全集など、幾つもの名演が鮮やかに脳裏に浮かんでくることだろう。クルト・ザンデルリンクの音楽は、古き良き時代のドイツを標榜するように、特有の伝統と魂に支えられて濃密にして重厚、さらに仄暗い抒情と人間らしい温もりを纏って永遠の生命力を放っている。

また青年時代、母親がユダヤ人であったため、ナチスから逃れてモスクワに亡命、モスクワ放送響など多彩な指揮活動を展開したが、その折厳格で知られるエフゲニ・ムラヴィンスキーの下で貴重な研鑽を積んだ。ちなみにクルト・ザンデルリンクが初来日をしたのは1958年、ムラヴィンスキーの手兵レニングラード・フィルに同行した指揮者のひとりとしてである。そのためクルト・ザンデルリンクはロシアもの、つまりチャイコフスキーやショスタコーヴィチにも類稀なる構築観を示し、豊潤かつ鮮烈な情感

で聴くものの心を強烈に揺さぶるのだ。

やがてドイツに戻ったクルト・ザンデルリンクは、ベルリン交響楽団の芸術監督・首席指揮者、シュターツカペレ・ドレスデンの首席指揮者、フィルハーモニア管の首席客演指揮者などを歴任、また読売日本交響楽団をはじめとする世界各地のオーケストラに客演、いずれも大きな反響を呼び、誠実な名指揮者として人々の記憶に深く刻み込まれている。

そのクルト・ザンデルリンクに、トーマス、シュテファン、ミヒャエルという息子がいる。長兄トーマスと次兄シュテファンはともに指揮者であり、末弟ミヒャエルも結局父や兄と同様、指揮者への道を歩んだ。そもそもミヒャエルは、ベルリンでチェロを学び、1987年のマリア・カナルス国際コンクールで優勝、その後チェロ奏者としてライブツィヒ・ゲヴァントハウス管やベルリン放送響で活動、ソリストとしても高い評価を得た。けれども結局、その並外れたDNAはミヒャエルをチェロ奏者にはしておかなかった。指揮者として2001年にデビューすると、幾つかのオーケストラや室内オケを経て2011年、ドレスデン・フィルハーモニー管の首席指揮者に就任したのである。

創立145年 ドイツ音楽史と共にある ドレスデン・フィル

ドレスデン・フィルは、1870年創立という長い歴史を持つ。1885年からは、演奏会場に由来する商工会議所管弦楽団を名乗り、フル・シーズンでの活動をスタートさせた。そして時代を映し出すように、ブラームス、ドヴォルザーク、チャイコフスキー、R.シュトラウスといった大作曲家たちが指揮台に立って興隆を極めた。1915年からは現在のドレスデン・フィルと改名、1934年から10年ほど首席指揮者を務めたパウル・ファン・ケンペンによって名実ともに大きな発展を遂げた。さらにアーベントロートやベイヌム、ヨッフム、カイルベルト、E.クライバー、クナッパーツブッシュ、ニキシュ、ケーゲル、ブラッソン、ヤノフスキ、そしてデ・ブルゴスら20世紀を代表する錚々たる名指揮者たちが、このオーケストラに濃厚な伝統と清新な息吹を注ぎ込んだのである。

ベートーヴェンは語られるべきもの ブラームスは歌われるべきもの

2013年6月、ミハエルはドレスデン・フィルを率いて初来日を果たした。その折はベートーヴェン「交響曲第7番」、ブラームス「同第1番」、上原彩子をソリストに迎えてのベートーヴェン「皇帝」、川久保賜紀とのメンデルスゾーン「ヴァイオリン協奏曲」など、ドイツものを軸としたプログラムだった。また第1ヴァイオリンと第2ヴァイオリンを指揮者の両翼におく対抗配置を採り、実にオーソドックスな解釈ながら細かいニュアンスを微妙に変化させ、並々ならぬ手腕で圧倒した。

ミハエルは、どんなに歴史を持つオーケストラでも、指揮者の義務として変化・変容をもたらさなければならないと語っており、ベートーヴェンについても伝統的な音色を携えつつ新しい方向性を確立したいと重ねているのだ。現在ドイツでは、ベートーヴェンやブラームスなどのプログラムはあまり受け入れられず、今回のオール・ベートーヴェン（札幌、所沢を除く）のようなコンサートはミハエルにとって



©Marco Borggreve

も、大きな意義を感じるという。

ベートーヴェンの音楽は格別だ。ベートーヴェンは計り知れない責任感を持って演奏しなければいけないという指揮者もいる。ミハエルも、古典的かつ古楽的な解釈を視野に入れながら、当時の様式を追求していかなくてはならないし、ブラームスは歌われるべきものであって、ベートーヴェンは語られるべきものであるというアプローチが大切であると力を込めるのだ。

今回のツアーで演奏されるのは、いずれもベートーヴェンの中枢を担う代表的な楽曲であり、「傑作の森」とも呼ばれる創作中期から後期へと移行する時期の名作である。また札幌ではメンデルスゾーン「ヴァイオリン協奏曲」、所沢ではブラームス「交響曲第1番」という前回採り上げられた楽曲も加えられる。「男子3日会わざれば刮目せよ」という。この2年の間、いかにミハエル・ザンデルリンクとドレスデン・フィルが密接にコミュニケーションを深め、今日の演奏会でどれほど崇高かつスケールの大きなベートーヴェン像を描くのか、大いに期待したい。

真嶋 雄大（まじま・ゆうだい）

新聞や音楽専門誌、コンサートの曲目解説、CDやDVDのライナーノート等に執筆の他、NHK-FMへの出演、コンクールの審査員、また全国展開するレクチャー・コンサート等旺盛に活動している。著書に「グレン・グールドと32人のピアニスト（PHP研究所）」、「ピアニストの系譜（音楽之友社）」等、監修に「新編ピアノ&ピアニスト」等。「真嶋雄大の面白クラシック講座」主宰。

ドイツのオーケストラ界

～伝統と迷い～

諸石幸生 (音楽評論家)

ドイツは、昔も今も世界に冠たるオーケストラ国である。あるデータによると、ドイツには公的支援を受けるオーケストラが112団体、室内楽団が7つ、放送局に所属するオーケストラが12あるという。この中で、一番大きなオーケストラは、ライブツィヒのゲヴァントハウスで185人を抱えているというし、シュターツカペレ・ドレスデンで159人。その次がバイエルン国立歌劇場管弦楽団の144人、4位はシュターツカペレ・ベルリンの136人であるという。この他にも、130人以上の団員を抱えるオーケストラがハンブルグ・フィル、ケルン・ギュルツェニヒ管弦楽団、州立オーケストラ・シュトゥットガルトとデュッセルドルフ交響楽団などである。彼らは常にオペラとコンサートの両サイドで演奏活動を行っている訳であり、コンサート専門のベルリン・フィルハーモニー管弦楽団は、128人を抱えるが、これは例外的な存在ということになる。

そのベルリン・フィルハーモニー管弦楽団が最近大きな話題となった。というのは、現在の音楽監督サイモン・ラトルが、2018年には退任し、ロンドン交響楽団の音楽監督に迎えられという事態を受けて、ベルリン・フィルは後任の主人を誰にするかを5月11日に楽員による投票で決定し、次期音楽監督を発表する予定であったが、結論に至らなかったというのである。

「将来の方向性を巡って根本的な意見の隔たりがあった」とは、楽団幹部の発言だが、この日は、123人の楽団員が11時間にわたって議論し、複数回投票を行ったが結論に達しなかった

という。候補になった指揮者は、ドイツのティールレマン (56才)、ラトヴィアのアンドリス・ネルソン (36才)、そしてベネズエラのグスターヴォ・ドゥダメル (34才) といったところだったらしいが、カラヤン以後に採用された楽員による自主投票では結論が出せなかったという。こうした原因は、オーケストラといえどもさまざまな問題を抱えており、次期音楽監督の選出というオーケストラの未来を左右することに、楽員すべてが真剣に考えていることの証でもある。

確かにここ25年近くの時代は、ベルリン・フィルにとっても試練というべき時であった。1989年にはカラヤンが亡くなったし、その翌年にはバーンスタインも他界した。しかも、1989年の11月にはベルリンの壁が崩壊し、翌年の10月には東西両ドイツが再統一されるということで、ドイツの楽壇も大きな時代のうねりともいえるべきか、変革の波にさらされた。

こうした中、ベルリン・フィルは、初めてのイタリア人指揮者アバドを迎えて新しいオーケストラに脱皮したともいえるべきか、開かれた社会性と新しい作品の比重を大きくしていくなど、オーケストラ全体としての社会的な比重をより大きくしていった。続くラトルも、ドイツ人ではなく、イギリス人であるが、こうした方針を加速して、何があってもおかしくない現代を代表するオーケストラのリーダーとしての役割を十二分に認識した活動を繰り広げてきたのである。2002年から2018年までの16年間。世界に冠たる国際的なベルリン・フィルをラトルが率いてきた実績は、誇り得るものであろう。

だが、ベルリン・フィルは今、迷っているというのか、先ほどの後任選びにおける、決定打に欠けるという意見である。果たしてベルリン・フィルは、ドイツのオーケストラとしての伝統と信頼感をより果敢に追及していくべきか、それもグローバリズムの名のもとにより普遍性と国際色を身に着けて、世界的な演奏を聴かせるオーケストラへと脱皮・発展していくべきかなど、方向性が決まらなくなっている。確かにベルリン・フィルは優れたオーケストラであるし、かつてロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団が行なってきたように古楽的なアプローチも可能であるし、扱ってきた作品も膨大にして多彩である。ベルリン・フィルはスーパー・オーケストラとしての機能と表現力を併せ持つ、と言ってもよいくらいである。

このように考えてくると、ドイツのオーケストラ界は、一見安定しているように思われるが、実は、迷いがあるということなのである。それは、フランスのオーケストラ界の実状に似ているようにも思われる。というのは、パリ管弦楽団が1967年、旧パリ音楽院管弦楽団を発展的に解消し、新しい美学と考え方とで誕生した時のことである。

この誕生劇は最初の内こそ大いに歓迎された。確かに初代の音楽監督ミュンシュは最円熟期にあったし、彼のもとで演奏されたベルリオズの「幻想交響曲」やラヴェルの「ボレロ」そしてブラームスの交響曲第一番などは、演奏の圧倒的なスケール感と密度の濃いアンサブルの素晴らしさとで、聴き手を圧倒した。ことにこうした熱演がフランスのオーケストラで実現され、線の細い、また色彩と香りにあふれ演奏を得意とするものであるという、それまでの常識を覆した点は大きかった。

だが、ミュンシュはわずか2年で他界してしまっただけで、続くカラヤン、ショルティ、パレンボイム、ビシュコフといった後任指揮者たちのもとでの演奏は、フランス色を失った。失われ

たフランスの音感覚、色彩感や空間性といったものは、むしろトゥールーズやリヨンといった地方都市のオーケストラによって引き継がれてきたのである。

そして、こうした流れとほぼ同じようなことを筆者はベルリン・フィルに対してもち、ドイツの伝統的なサウンドや音楽性を、このドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団に感じてしまうのである。

1870年創設という歴史は、ベルリン・フィル以上のものがあるし、このオーケストラがこれまでに培ってきた伝統はまさにドイツの中核的な味わいと機能美を誇るものといえてよいであろう。過去の歴史をひもといてみると、1930年代には、オランダのパウル・ファン・ケンペン、戦後にはボンガルツ、マズア、ヘルヴィッヒ、ケーゲルといった名匠たちを迎えてドイツの良心とでもいうべき演奏を聴かせてきた。

このオーケストラ独特の魅力は、ベルリン・フィルには決して出すことの出来ない、ドイツ音楽の原点的なサウンドであり、またそうした柔らかく、しかもしっとりとして温かい調べに身をつつまれる時、私たちは、音楽の良心に憩う、そんな感動すらしてしまうのである。

しかも今回は、2011年からの新しい首席指揮者ミヒャエル・ザンデルリンクに率いられての来日公演である。巨匠ザンデルリンクの息子として1967年東ベルリンに生まれており、長らくライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団やベルリン放送交響楽団のチェリストとして経験を重ねてきた実績をもつだけに、指揮者としても大いなる期待感が寄せられる。それはただ単なる熱演ではなく、私たち聴き手がオーケストラというものの本質に触れて、安堵し、改めてオーケストラ音楽の素晴らしさに感謝する、そんな機会になるものと思われてならない。

※2015年6月22日、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団は「次期首席指揮者兼芸術監督にキリル・ペトレンコ氏を選出した」と発表しました。

Dresdner Philharmonie

Michael Sanderling | Principal Conductor

Frauke Roth | General Director

Ist Violin

Ralf-Carsten Brömsel*
 Wolfgang Hentrich*
 Dalia Schmalenberg
 Heide Schwarzbach
 Christoph Lindemann
 Marcus Gottwald
 Antje Becker
 Johannes Groth
 Alexander Teichmann
 Thomas Otto
 Eunyoung Lee
 Sophie Keiter
 Elgita Polloka
 Annekathrin Rammelt**
 Jens-Joachim Muth**
 Anna Puschmann**

2nd Violin

Markus Gundermann*
 Michael Dinnebier**
 Denise Nittel
 Reinhard Lohmann
 Steffen Gaitzsch
 Matthias Bettin
 Heiko Seifert
 Andreas Hoene
 Andrea Dittrich
 Constanze Sandmann
 Jörn Hettfleisch
 Angelika Feckl
 Signe Dietze
 Susanne Goldmann

Viola

Christina Biwank*
 Beate Müller
 Steffen Seifert
 Steffen Neumann
 Heiko Mürbe
 Andreas Kuhlmann
 Tilman Baubkus
 Harald Hufnagel
 Friederike Flemming
 Henriette Mittag
 Kasumi Matsuyama**
 Thomas Oepen**

Violoncello

Matthias Bräutigam*
 Ulf Prella*
 Petra Willmann
 Thomas Bätz
 Rainer Promnitz
 Clemens Krieger
 Daniel Thiele
 Alexander Will
 Merlin Schirmer
 Hans-Ludwig Raatz**

Double Bass

Benedikt Hübner*
 Slawomir Grenda**
 Olaf Kindel
 Norbert Schuster
 Bringfried Seifert
 Thilo Ermold
 Matthias Bohrig
 Ilie Cozmatchi

Flute

Karin Hofmann*
 Paolo Taballione**
 Claudia Rose
 Magdalena Bätz**

Oboe

Johannes Pfeiffer*
 Undine Röhner-Stolle*
 Guido Titze
 Jens Prasse

Clarinet

Fabian Dirr*
 Til Renner**
 Henry Philipp
 Klaus Jopp

Bassoon

Philipp Zeller*
 Ulrich Hermann**
 Robert-Christian Schuster
 Mario Hendel

Horn

Michael Schneider*
 Tino Bölk**
 Friedrich Kettschau
 Johannes Max
 Dietrich Schlät
 Carsten Gießmann

Trumpet

Christian Höcherl*
 Csaba Kelemen
 Nikolaus von Tippelskirch
 Björn Kadenbach

Trombone

Matthias Franz*
 Stefan Langbein*
 Joachim Franke
 Peter Conrad

Timpani

Stefan Kittlaus**
 Oliver Mills

* Principal

** Substitute

Executive Director

Martin Bülow

Personal Assistant to the Principal Conductor

Alexandra MacDonald

Orchestra Operations

Almut Placke

Orchestra Staff

Jens Eichler
 Gerd Krens
 Matthias Richter
 Rico Löwe



ANA
CROWNE PLAZA
HOTEL GRAND COURT NAGOYA

Ryuji Aoki



RYUJI AOKI DINNER SHOW 2015 青木隆治ディナーショー2015

昭和の名曲からJ-POPまで…。
七色の声でお送りするものまねアーティスト・青木隆治の魅力をホテル特製のお料理とともにお楽しみください！

2015.8.2(日)

<会場> 7F大宴会場「ザ・グランコート」 ⊕ 会場内は禁煙です。

- <料金>
- | | |
|----|--|
| 1部 | 受付 0:30p.m.~/ランチ 1:00p.m.~/ショー 2:15p.m.~
¥19,000 (洋食コース料理・フリードリンク・税金・サービス料込) |
| 2部 | 受付 4:30p.m.~/ディナー 5:00p.m.~/ショー 6:15p.m.~
¥22,000 (洋食コース料理・フリードリンク・税金・サービス料込) |

【一般チケット販売】

● チケットぴあ
<http://t.pia.jp> [Pコード:262-474]
Tel. 0570-02-9999

【備考】
※1部・2部ともに全席指定。
※写真・ビデオ撮影および録音はご遠慮ください。
※未就学のお子様はご入場いただけません。
(小学生は要保護者同伴)

ご予約・お問い合わせ 宴会イベント係 Tel.052-683-4445 (10:00a.m.~7:00p.m.)

ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋

〒460-0023 名古屋市中区金山町1-1-1 Tel 052-683-4111 Fax 052-683-4121
www.anacrowneplaza-nagoya.jp



宿泊予約 0120-455-655
ANACROWNEPLAZA.COM

LONDON NEW YORK PARIS SHANGHAI SYDNEY PART OF OVER 400 CROWNE PLAZA HOTELS WORLDWIDE

東海地区の人気番組、3年目突入!
さらにこの春、関東地区でも放送スタート!!
毎日の暮らしを笑顔にする生情報ワイド!



ゴゴスマ

GoGo! Smile!

CBC 月～金曜ゴゴ1:55～3:50 TBS 月～金曜ゴゴ1:55～2:53

MC/石井亮次(CBCアナウンサー) アシスタント/古川枝里子(CBCアナウンサー)



★月曜レギュラー★
大久保佳代子
ユージ
鈴木明子



★火曜レギュラー★
林修
岡田圭右
(ますだおかだ)
木本武宏(TKO)



★水曜レギュラー★
松本明子
ニッチェ
(江上敬子、近藤くみこ)



★木曜レギュラー★
山口もえ
博多華丸
JOY



★金曜レギュラー★
黒田知永子
遼河はるひ
ふぉ～ゆ～
(ジャニーズJr.)



挑戦の 数だけ、 保険が ある。

保険は、冒険から生まれた。
大航海という挑戦を助けるために、
勇気をつくるために、
保険は生まれた。

さあ、挑戦しよう。
人は何かを始めることで前へ進み、
世界は新しく変わってゆく。
不安も、きっとあるだろう。
でもそれは、分かち合うことで軽くなる。

世の中には2種類の人がいる。
挑戦する人、しない人。
充実した人生を送るのは、
どちらの人だろう。
人から愛され尊敬されるのは、
どちらの人だろう。
世の中を変えていくのは、
どちらの人だろう。

私たちはすべての挑戦を応援します。

To Be a Good Company



東京海上日動



いっしょに、明日のこと。
Share the Future



SMBC日興証券



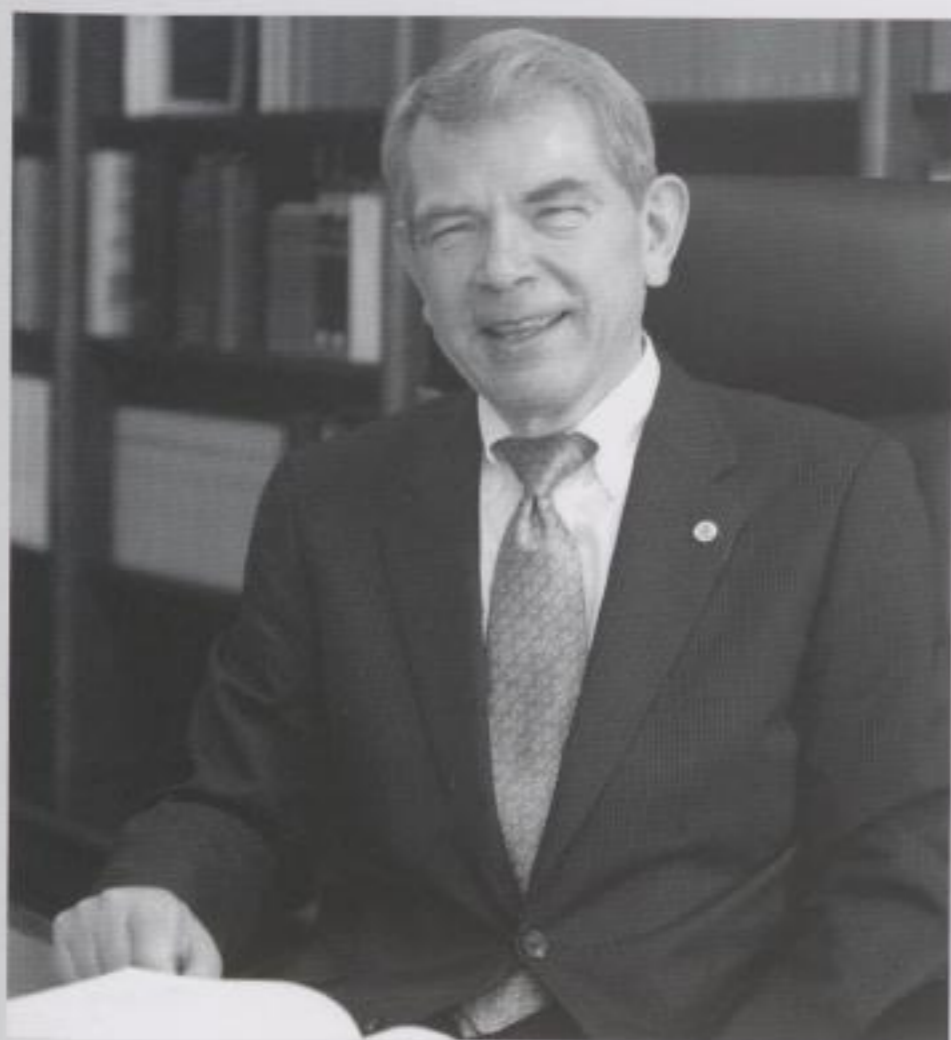
SLUB
Wir führen Wissen.



Dresdner
Philharmonie

人間の尊厳のために

Hominis Dignitati



ハンス ユーゲン・マルクス理事長

この教育モットーから、南山学園はつながり、未来へひろがる。

南山学園は、キリスト教の精神による教育を標榜し、「人間の尊厳のために」を教育モットーに掲げる大学院、大学、高等学校、中学校、小学校を持つ中部唯一のカトリック系総合学園です。「キリスト教世界観に基づく学校教育を行ない、人間の尊厳を尊重かつ推進する人材の育成」をその建学の理念とし、この建学理念に具体的な方向性を与えるために、本学園の各学校は「人間の尊厳のために」(ラテン語でHominis Dignitati)という統一の教育モットーを掲げています。

キリスト教では、人間は神に創造されたものとして優すことのできない「尊厳」つまり人間としてのかけがえのない価値や権利を持っている、と教えられています。

このような人間の尊厳をしっかりと把握し、これを尊重しつつ生きていく人間になるように、という願いがこの教育モットーに込められているのです。

学校法人 南山学園

<http://www.nanzan.ac.jp/>

南山大学

▶ 学部・大学院

名古屋キャンパス

学部 人文学部・外国語学部・経済学部・経営学部・法学部・理工学部・短期大学部

大学院 人間文化研究科・国際地域文化研究科・社会科学研究科(経済学専攻、経営学専攻)・経済学研究科・ビジネス研究科・法務研究科(法科大学院)・理工学研究科

瀬戸キャンパス

学部 総合政策学部

大学院 社会科学研究科(総合政策学専攻)・総合政策研究科

南山高等学校・中学校
(男子部・女子部)

南山国際高等学校・中学校

聖霊高等学校・中学校

南山大学附属小学校

NANZAN
SCHOOL CORPORATION

第33回
名古屋国際音楽祭

CBC TV E